

# リアルで読者と繋がる!! 芸文社イベントが できるまで

芸文社イベントを  
ぎゅっくり勉強!

芸文社を語る上で外せないのが、自社開催イベント! 「え? なんて出版社がイベントなんてやるの?」だって? 出版社なんだから、本だけ作っているって誤解されがちなんですけど、今や紙媒体の域を越えて、リアルイベントと

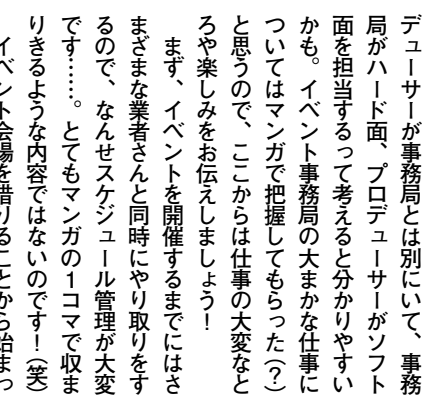
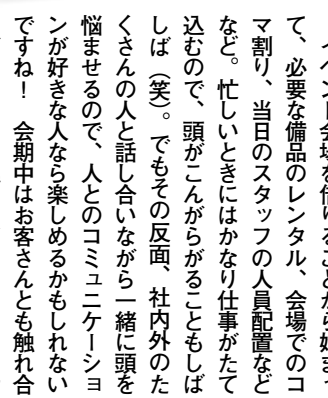
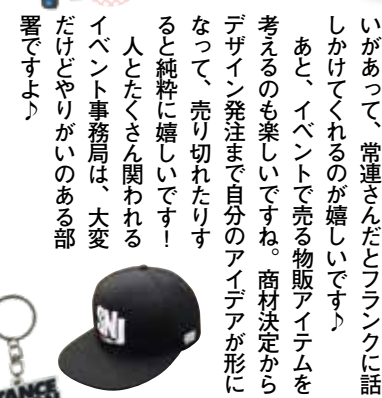
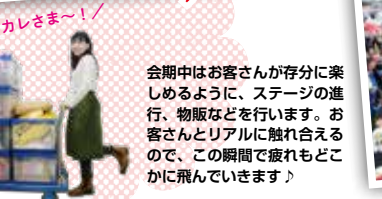
の融合は必須となっているのです! 芸文社の雑誌を読んでもくれた読者さんが、同じ趣味同士で集まる場を提供することが、イベント開催の意義です。一からは、イベント準備を段階を追ってご紹介しま〜す!

部署間の連携プレーで  
イベントを成功へ導く!

イベント事務局とは、ざっくり言うと社内の各部署や、外部でイベントを手伝ってくれる会社をまとめたり、予算を管理してイベントを成功させる、マネージャー的存在。コンテンツを決めるプロデューサーが事務局とは別にいて、事務局がハード面、プロデューサーがソフト面を担当するって考えると分かりやすいかも。イベント事務局の大まかな仕事についてはマンガで把握してもらった?と思うので、ここからは仕事の大変なところや楽しみをお伝えしま〜す!

まず、イベントを開催するまでにはさまざまな業者さんと同時にやり取りをするので、なんせスケジュール管理が大変です!。とてもマンガの1コマで収まりきるような内容ではないのです! (笑) イベント会場を借りることから始まって、必要な備品のレンタル、会場でのコマ割り、当日のスタッフの人員配置などなど。忙しいときにはかなり仕事が多忙になるので、頭がこんがらがることがしばしば (笑)。でもその反面、社内外のたくさんの人と話し合いながら一緒に頭を悩ませるので、人とのコミュニケーションが好きな人なら楽しめるかもしれないですね! 会期中はお客さんとも触れ合いがあって、常連さんだとフランクに話しかけてくれるのが嬉しいですよ!

あと、イベントで売る物販アイテムを考えるのも楽しいですね。商材決定からデザイン発注まで自分のアイデアが形になって、売り切れたりすると純粋に嬉しんです! 人とたくさん関われるイベント事務局は、大変だけどやりがいのある部署ですよ!



# 先輩に聞く

**営業部 管理部**  
伊藤 寧々

①取次納品書などの作成、通販ショップ対応、釣り雑誌「Gijie」の直販販売担当など多岐にわたります。②多岐にわたる仕事内容で、様々な経験をつめることがやりがいです。③「出版・イベント」の2つをテーマとして就活していたので、そのテーマ通りの会社に入社できたこと自体が嬉しいです。仕事はまだ慣れていないことがありますが、通販の電話対応がうまくできたときは嬉しかったです。④イベントによる出張で、荷物を減らそうと薄めのアウターにしたら想像以上に寒かったこと。何事もやりすぎくらいの準備が大切! ⑤ Hulu で海外ドラマ一見見! ⑥どんな分野にでも興味を持って仕事をできる人。

①月刊スキーグラフィックというスキー専門誌の編集と、WEBサイトやDVDの企画をしています。②雑誌の売上など、部の業績を伸ばすこと...というのは建前で (笑)、実際には、自分のひらめきやイメージを、プレーヤー、カメラマン、ライター、デザイナー、イラストレーター、それから社内の仲間など多くの人に協力してもらいながら形 (ページ) にすること。そして、それを世に送り出せたときですね。関わる人が多ければ多いほど面倒なことも増えるんですが、そのぶん多角的なアイデアが集まるし、やり切ったときの達成感も大きい。③多様な経験の出版人と一緒に仕事ができることです。それに、芸文社では②ができる。人と関わりながらモノを作っていく喜びを肌で知っている人が多い。④中途半端が許されないことですかね。やりたい手を挙げたら、自分の好きな部分だけじゃなくて、知らないことも苦手なことも基本的に全部任される。たまにしんどいときもあるけど、社内に助けられる人はいますし、確実に自分の成長につながると思います。⑤買い物とゴルフと温泉めぐり⑥これがやりたい! ああ場所に行きたい! あの人に会いたい! と意欲がある人。目の前の仕事に全力を出し切れる人。

**営業局 高吉 誠司**

①広告部は雑誌の広告を営業し売り上げることが主な業務です。営業先としては、広告代理店と広告主 (クライアント) がいます。雑誌のジャンルやテストにより広告主を選定し営業します。②やはり自ら営業して新規クライアントを獲得したときですね。③芸文社で発行している媒体は雑誌がメインですから、広告売上や販売部数など、他業種よりも比較的早く結果がわかります。担当した媒体の売上や部数がよかったときは素直にうれしいです。④11~1月の屋外イベントでスタッフを任せられたときはとても寒くてへたれそうでした。収益がいいときは少しは役に立たないかなどなくさめになります。⑤1月に消防車 (はしご車) のムックを作ったので消防車です。知れば知るほど奥が深いのです。⑥編集でも営業でも求められるのは企画力とコミュニケーション力。またなんでも前向きに取り組める人は周りも明るくするもの。そんな人はどこでも引っ張り手です。

**営業局 管理部 吉田 名苗**

①在庫管理、用紙・印刷発注、取次請求など②在庫をチェックしている中で売れている商品は重版提案ができる。③現在・過去の社員が今でもつながりがあり、協力し合えること。自分が関わった商品の奥付に名前が載ったこと。④真夏のイベントで日焼け止めを塗り忘れて、真っ黒になったこと。⑤フットサルと釣り⑥量か創造力を持ち、従来・今後両方から物事を考えられる人。

**第一編集局 カミオン事業部 松島 輝征**

①「カミオン」や各種ムックの編集。②仕事について自由度が高いこと (逆に言えば、目標達成のために柔軟な思考が求められる)。③知的好奇心の旺盛な人が多く、日常にさまざまな刺激にあふれていること。④自信を持ってやった仕事かハズした時。⑤「珍獣ハンター」。本を上梓されている先生にインタビューされて。⑥戦艦機「F-4 ファントム」みたいな人 (笑)。優れた設計のもとで作られ、改良を重ねて実戦で磨かれていったロング&ベストセラーとなった飛行機で、失敗と成功を経験してきた経験がある人は社会に出ても通用します。

**第一編集局 カスタムCAR事業部 初村 崇**

①月刊誌「カスタム CAR」、年1回発行のムックなどの編集。雑誌の企画内容、取材、レイアウト組み、入稿作業などを経て、雑誌が完成するまでのディレクター的役割とえば伝わりやすいかもです。②企画を練るのが苦勞するんですが、逆にそれが楽しんだりもします。③自分が作ったページに対しての読者アンケートの得票数が多いと、その日1日ハイテンションです (笑)。④編集者は休日取材ということも多いので、休みが不規則なことですかね。⑤ミニカー集め、カーイベントのフリマで見かけるといつい (笑)。ミニカー LOVE です。⑥疑問を持って、自分から人に質問できる人。編集者をやっていく上で、インタビュー力が重要になってくるので、身の回りのことに興味を持つことが大事だと思います。

# 芸文社

HOW DO YOU FEEL ABOUT GEIBUNSHA?

「この日は、皆さんが芸文社に入社したときに一緒に働く先輩を名刺交換して紹介しま〜す!」芸文社ではどんな人が働いてるの? ってのは、一緒に働く先輩を名刺交換して紹介しま〜す!」芸文社ではどんな人が働いてるの? ってのは、一緒に働く先輩を名刺交換して紹介しま〜す!」芸文社ではどんな人が働いてるの? ってのは、一緒に働く先輩を名刺交換して紹介しま〜す!